

釣り中のライフジャケット着用の奨め

第三管区海上保安本部警備救難部
救難課計画係長 山崎 誠

皆さんは、釣り中に海中転落をした場合、どのような状況になるか考えたことはありますか。水の中で泳ごうとしても着衣は水を吸って重くなり、更に体にまとわりつくことから泳ぎにくく無駄な体力ばかり使ってしまいます。泳げる人であっても数分で体力を消耗し溺れてしまうでしょう。また、溺れないで浮いていたとしても水温が低ければ時間の経過とともに体温が低下し低体温症になります。

釣り中に海中転落をしても、周囲の人が誰も気付いてくれなければ助けてくれる人はいません。自力で何とかしなければ、最悪の場合は死に至ることになります。

私は海に落ちないように十分注意を払っているから大丈夫と考えているのであれば考え直して下さい。人間は万能ではないので、細心の注意を払っていたとしてもミスをします。

私達は自動車に乗る場合、交通事故に遭ったとしても助かる確率が高くなるようにシートベルトを着用し、万一の事態に備えています。それと同じ事で、釣り中に海中転落をしたとしても助かる確率が高くなるように、浮いて救助を待つためにライフジャケットを着用し、万一の事態に備える必要があります。

考えて頂きたいのは、もし、元気に家を出て釣りに行ったお父さんが海に落ちて帰らぬ人となった場合、突然の訃報を知らされた家族の悲しみは計り知れないものがあるということです。また、海に落ちた本人も事故直前までは何の危険も感じず楽しく釣りをしており、海に落ちて初めて事の重大さに気付いたのでは遅いということです。

ライフジャケットを着用せず海中転落した場合でも助かることはあります。しかし、それは周囲で誰かが海中転落を目撃してすぐに救助した場合、周囲に浮く物があり掴まることができた場合、近くに自力で上られる場所があった場合など助かる要素が何かしら付加された時のみで、たまたまその人の運が良かっただけと言えるでしょう。

釣りをする際は、自分の命は自分で守るという基本的な考え方を基に、海上保安庁が推進する自己救命策【①ライフジャケットの常時着用、②防水バックに入れた携帯電話の所持、③海の緊急電話118番への通報】の3つの基本を確保するとともに、**気象海象情報の入手**及び**複数での釣行**を励行して、安全で楽しい釣りを心掛けましょう。



いのち
水は地球の生命です。

NICE DAY GOOD FISHING
JOHSHUYA 上州屋
本社:埼玉県草加市栄町1-5-6 TEL:048-935-1581 (代)
<http://www.johshuya.co.jp/>

人と自然と、コミュニケーション

TAKAMIYA

株式会社 タカミヤ
〒805-8539 福岡県北九州市八幡東区前田企業団地1-1
TEL: 093-661-3171 FAX: 093-661-3175

読んだら釣れた!

Fishing Magazine TSURIBITO
月刊 **つり人**

〒101-8408 東京都千代田区神田神保町1-30-13
TEL03-3294-0781 FAX03-3294-0783

Golden Mean
<http://www.golden-mean.co.jp>

中央漁具株式会社 ゴールデンメーン事業部
〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目8-8 TEL.06-6531-0918

よごすまい
明日もみんなが
くるつり場

釣りへのこだわりを形にする

株式会社 **釣研**

<http://www.tsuriken.co.jp>
〒811-4393 福岡県遠賀郡遠賀町若松203
代表 TEL(093)291-2233 FAX(093)291-2234